

みずほCustomer Desk Report 2023/03/22 号 (As of 2023/03/21)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	-
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	131.37	1.0720	141.05	1.2280	0.6713
SYD-NY High	132.63	1.0789	142.74	1.2280	0.6726
SYD-NY Low	131.05	1.0704	140.47	1.2180	0.6650
NY 5:00 PM	132.46	1.0770	142.67	1.2219	0.6671
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,560.60	316.02	日本2年債	-	-
NASDAQ	11,860.11	184.57	日本10年債	-	-
S&P	4,002.87	51.30	米国2年債	4.1770%	0.2133%
日経平均	-	-	米国5年債	3.7472%	0.1640%
TOPIX	-	-	米国10年債	3.6066%	0.1266%
シカゴ日経先物	27,185.00	265.00	独10年債	2.2755%	0.1750%
ロンドンFT	7,536.22	132.37	英10年債	3.3610%	0.0580%
DAX	15,195.34	261.96	豪10年債	3.2110%	▲0.0830%
ハンセン指数	19,258.76	258.05	USDJPY 1M Vol	12.89%	▲0.58%
上海総合	3,255.65	20.74	USDJPY 3M Vol	13.16%	▲0.29%
NY金	1,941.10	▲ 41.70	USDJPY 6M Vol	12.05%	▲0.16%
WTI	69.67	1.85	USDJPY 1M 25RR	▲1.79%	Yen Call Over
CRB指数	257.68	2.51	EURJPY 3M Vol	13.04%	▲0.26%
ドルインデックス	103.26	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	12.31%	▲0.09%

アジア	アジア時間のドル円は131.37レベルでオープン。直後に米国当局がすべての預金保護を検討とのヘッドラインを受けて日中高値の131.59まで上昇するもすぐに反落。その後公表された3月RBA議事要旨がハト派的な内容であった事を受けてAUDが下落する中、ドル円も131.05まで下落。その後は下落幅を縮小する展開となるも東京休日で薄商いの中、動意の乏しい推移となり、131.40レベルにてクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、131.40レベルでオープン。FOMCを明日に控え、金利の上昇を背景にドル円も132.41円まで堅調に推移し、結局132.27レベルでNYに渡った。欧州株は、英欧の金融当局が金融システムの安定性を強調したほか、スイス大手銀行買収時に動揺を招いたAT1債について改めて説明したことが安心材料となり、前日に続いて銀行株を中心に回復。ユーロドルは1.0708レベルでオープンし、一本調子で1.0785まで上昇した後、結局1.0780レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は131円台前半でスタート。海外時間では欧米金融不安が少し落ち着いたことからリスクオンモードとなり円売りが先行、クロス円の上昇に連れてドル円も上昇し132.27レベルでNYオープン。午前中に発表された米2月中古住宅販売件数が大きく予想を上回るものの、市場への反応は限定的。その後円が買い戻され一時131.79まで反落するも、イエレン米財務長官の「もし小規模の銀行を保護するため必要とあれば介入する」とのヘッドラインが伝わると、米金融システム不安が後退し再び円が売り戻される展開となりドル円は132.40まで急伸。午後米金利上昇を背景に底堅く推移を続け、一時132.63まで上昇するが、明日の米FOMC金融政策発表を控え次第に小動きになり132.46レベルでクローズ。一方、海外市場でのユーロドルは1.07台前半でスタート。アジア時間では狭いレンジでの推移が続いたが、欧州勢参入後は欧州株式市場の好調及び独金利上昇を背景にユーロ買いが優勢となり、ユーロドルは堅調に推移し1.0780レベルでNYオープン。オープン後は横ばいでの推移が続き、米指標の結果発表を受け1.0761まで小幅下落。その後は1.0783まで反発する場面も見られたが長続きはせず、次第に下落。午後は明日の米FOMC結果発表を控え狭いレンジで推移し、結局1.0770レベルでクローズ。

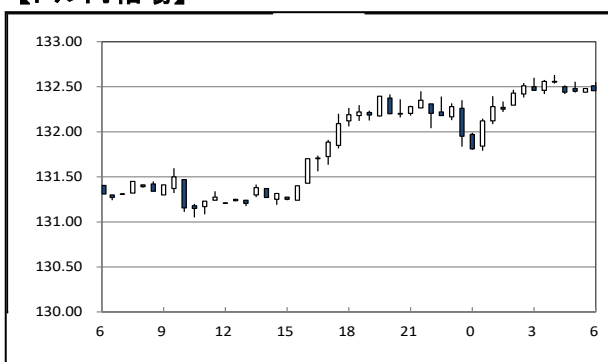
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月20日	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	2月 -0.3%/15.8%	-1.4%/14.5%
3月21日	19:00	独 ZEW景気期待指数	3月 13.0	15.0
	19:00	独 ZEW調査現状指数	3月 -46.5	-44.3
	19:00	欧 ZEW景気期待指数	3月 10.0	-
	23:00	米 中古住宅販売件数	2月 4.58m	4.20m

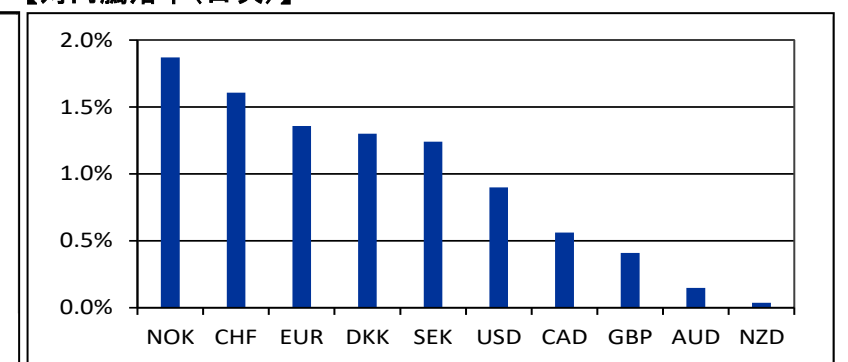
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月22日	16:00	英 CPI(前月比/前年比)	2月 0.6%/9.9%	-0.6%/10.1%
	16:00	英 CPIコア(前年比)	2月 5.7%	5.8%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	3月 -	6.5%
3月23日	03:00	米 FOMC政策金利	3月 5.00%	4.75%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	130.50-133.00	1.0650-1.0800	139.50-143.50

【マーケットインプレッション】

20日月曜日のドル円は131.80円でスタート。スイス大手金融機関のUBSが、同クレディ・スイスの買収で合意したことを背景に東京時間は公示仲値に向けて円安ドル高が進行。一時132.65円をつけた。しかしロンドン市場開始と共に。リスクオフが再燃し米10年債利回りは3.30%割れの水準まで低下。ドル円も一時130.55円を付けたが、最終的には131円半ばでクローズ。21日のドル円はロンドン時間に1円超上昇。米国時間に発表された2月の中古住宅販売件数は予想を大きく上回ったが、価格の低下が確認され一時0.5円程円高に振れるも132.37円でクローズ。本日のドル円相場はFOMCの結果発表までは方向感の無い推移を予想。SVB破綻に端を発した金融不安から、一部では利下げを予想する声も上がる状況。一方で市場は1回程度の利上げを織り込んでおり、利上げ有無もさることながら利上げ停止に言及するか注目が集まる。また、足元の緊急流動性供給によって、バランスシートは拡大に転じておりQTの行方にも注視したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 鈴木・大橋